

東日本大震災経過

平成23年3月11日（金）

- 14:46 頃 三陸沖で震源の深さ約10Km地震の規模（マグニチュード）7.9（後に8.8、さらに9.0に修正）の地震が発生。庄内町における震度は5弱（計測値：本庁舎4.4、立川支所4.5）。
- 15:15 副町長と協議し、災害対策連絡会議を招集。関係者に連絡する。
- 16:42 東北電力より、庄内町全域で停電しているとの連絡があった。
- 17:00～ 防災行政無線で各種連絡を行う。
- 17:30 庄内町地震対策連絡会議を開催。調査報告と対策を協議。
- 18:00 地震対策連絡会議から1次配備に切り替え。
- 20:00 立谷沢地区松野木以南の電力復旧。

平成23年3月12日（土）

- 8:40 町長、副町長、教育長、総務課長登庁。
- 9:00 対策会議を開催。今後の対応について協議。状況確認も兼ねて、先遣隊として副町長を隊長とした支援隊を南三陸町に派遣することに。
- 9:30 本庁舎周辺電力復旧の情報が入る。
- 11:40 本庁舎のサーバー復旧との連絡あり。（情発 押切）
- 12:00 企業課の対策本部を解散するとの連絡あり。
- 14:00 東北電力の阿部氏来庁。今後の復旧の見通しについて説明。
- 17:05 防災無線による町長声命発表。
- 17:30 町内要援護者に民生委員、保健福祉課、社会福祉協議会職員によりおにぎりを配布。
- 18:18 町内全域に通電開始との連絡。
- 19:02 「14:49から余目局内の固定電話すべてが発着信不能となっていて、119番通報もできない状況。」との連絡あり。（状況から18:30頃に復旧したものと思われる。）
- 19:10 東北電力より、町内全域に通電を確認したとの連絡あり。

平成23年3月13日（日）

- 9:20 先遣救援隊が南三陸町に向かい出発。（副町長、総務課長、商工観光課長、池田運転手）
物資（毛布50枚、肌着50組、ミネラルウォーター500ml×240本）

※宮城県内のライフラインは全滅。コンビニ等店舗ほぼ閉店状態。ガソリンスタンドパニック状態。入谷小学校まで入る。入谷公民館が物資の窓口になる。本部（ベイサイドアリーナ）との連絡は取れない状態。徒歩にて連絡している状態。南三陸町長、副町長の無事を確認、面会し状況を聴取、必要な物資を聞き取りし、翌日から物資の支援を行うことを決定。

平成23年3月14日（月）

- 9:20 本格支援開始。第2便出発（池田運転手、海藤添乗）田川商運4t車2台（水、無洗米、おにぎり他）
瓦礫の片付けもひと段落し、避難本部（ベイサイドアリーナ）まで車で行けるようになる。

平成 23 年 3 月 15 日（火）

11 : 00 第 3 便出発（企業課石川、情発課高田、斎藤添乗）田川商運 4t 車 1 台と企業協力のユニット車 1 台。（支援物資は別紙。）

町長、副町長と面会。41ヶ所に 8,556 人が避難しているとのこと。必要物資の聞き取りを行い、準備できるものから届けることを確認。一日に二食で我慢してもらっている状況で、食料・水がまだまだ足りない状況にあるとのこと。

「給水車を借りられれば、こちらの職員が登米から給水してくることも可能なので、検討してもらえないだろうか。」と副町長から要請があり、企業課で検討することにした。

京都、兵庫の救急車など関西を中心とした支援が目立つ。

平成 23 年 3 月 16 日（水）

9 : 30 第 4 便出発（社会教育課長添乗）。田川商運 4t 車 1 台、コクエー 4t 車 1 台。（支援物資は別紙のとおり）

要請を受けた給水車については、民間企業から長期借り上げし、タンクを設置の上使ってもらうことにした（企業課）。

19 : 00 本日物資を運んだ吉田社会教育課長からの情報で、本日からベイサイドアリーナの災害対策本部に衛生電話 3 台が設置されるということであった。

平成 23 年 3 月 17 日（木）

9 : 30 第 5 便出発（情報発信課佐々木添乗）。田川商運 4t 車 1 台、コクエー 4t 車 1 台。（支援物資は別紙のとおり）

携帯電話も、午前つながらない場所でも夕方にはつながるようになってきているなど、刻々と復旧してきているようだ。

21 : 00 南三陸町志津川病院から庄内余目病院に 2 名の被災者を受入れたとの情報あり。

*北月山荘燃料不足の影響で当面営業休止。

平成 23 年 3 月 18 日（金）

6 : 00 第一次炊き出し隊出発。ベイサイドアリーナで 1,500 食のつゆ餅を提供する。

町長、議会議長、商工会長、商工会事務局長、商工観光課長ほか商工会関係者ら 27 名が避難本部であるベイサイドアリーナで、つゆ餅 1,500 食を提供した。避難本部ではこれまで温かい汁物の提供はなかったそうで、大変喜んでもらった。ただ、避難所ごとに差があり、不平不満が出てきている。

9 : 30 第 6 便出発（職員添乗なし）。田川商運 4t 車 1 台、コクエー 4t 車 1 台。（支援物資は別紙のとおり）

9 : 40 薬剤臨時便出発。

南三陸町遠藤副町長の要請で、天童市の日新薬品から薬を運んでほしいとの要請があり、調整を図り運送会社に依頼するも、燃料不足を理由に断られる。

急きょ、防災車で搬送することになり、エクストレイルいっぱい薬を届けた。

宮城県内はほぼ全域で携帯電話が通じるようになっていて、被災地（南三陸町）周辺は未

通だが、ベイサイドアリーナには仮設のアンテナが立ち、半径 1km 以内では通話が可能となっていた。

16:00 石巻市特養雄心苑からソラーナに 1 名受入れたとの情報あり。

*町営バス 幹線路線 4 往復を 2 往復、土日祝日運休、循環路線 4 路線の各 3 便目を運休。

平成 23 年 3 月 19 日 (土)

9:25 第 7 便出発 (社教課太田添乗)。田川商運 4t 車 1 台。(支援物資は別紙のとおり)

町長、副町長、総務課長とも不在で面談かなわず。本部の三浦班長によると、引き続き食料品・生活用品の支援をお願いしたいとのこと。特に保存のきくものをお願いしたい。

宮城県災害対策本部からの情報により、登米市の避難所の南三陸町の方の避難者リストを南三陸町災害対策本部に届けた。

12:00 アルケッチャーノ奥田シェフ一行が、歌津中学校避難所で食事 (ハンバーグ等) 678 食の提供を行う。

平成 23 年 3 月 20 日 (日)

9:12 第 8 便出発 (会計室斎藤添乗)。田川商運 4t 車 1 台。(支援物資は別紙のとおり)

今回から、野菜や調味料を加えている。今後の要請としては、日持ちのする食料品 (カップめん等)、日常生活用品、衛生用品 (ほうき・チリトリ・ゴム手袋等) をお願いしたいとのこと。

自宅避難の方が、支援物資が回ってこないとの苦情があったが、最寄りの避難所に出向き、配給を受けて欲しいとのこと。(避難所ごとに独自のコミュニティが形成され、入りづらい雰囲気があるとか。)

救援物資の輸送と一緒に町農協の参事さん以下 5 名が今後の農業支援について、南三陸町農協関係者と協議をした。現段階では、目途がたたないため、今後、機会を捉えて協議することになった。

平成 23 年 3 月 21 日 (月)

9:15 第 9 便出発 (教育課佐藤添乗)。田川商運 4t 車 1 台。(支援物資は別紙のとおり)

昨日、歌津中学校避難所に衛星電話 3 回線が導入された。(支所長 アベトシカツ氏)
また、ベイサイドアリーナ敷地内に 2 階建てのプレハブを建て、避難本部を移す予定。

15:36 南三陸町遠藤副町長からの情報で、昨日から拠点の避難所に衛星電話が設置された。

平成 23 年 3 月 22 日 (火)

9:10 第 10 便出発 (総務課秋庭添乗)。田川商運 4t 車 1 台。(支援物資は別紙のとおり)

11:00 庄内町南三陸町災害支援対策本部から庄内町災害対策本部に切り替える。

11:30 避難者支援対策班打合せ

15:00 庄内町災害対策本部人的対策部、避難者受け入れ協議開催。

南三陸町では物資が行き届き、おにぎり・水についても減量の要請。

平成 23 年 3 月 23 日 (水)

9:00 余目第三公民館で避難者の受け入れ開始 (50 名想定。4 月 30 日まで)。避難者の自主運

営が原則。

- 9:15 第11便出発（環境課廣田添乗）。田川商運4t車1台。（支援物資は別紙のとおり）
13:00 奥田シェフスタッフ志津川地区で前沢牛カレー800食の食事の提供。また、辻ロパティエシエが同行し、和ラスク25,000枚提供。

平成23年3月24日（木）

- 5:30 南三陸町歌津中学校避難所で第2回目の炊き出し実施。清野元立川町長、立川ボランティア、立川グラウンドゴルフ協会、庄内町国際交流協会、商工観光課で対応。
つゆ餅1,000食を提供した。
9:10 第12便出発（農業委員会佐藤添乗）、田川商運4t車1台。（支援物資は別紙のとおり）
10:45 南三陸町避難者支援対策班打合せ
17:50 南三陸町災害対策本部の物資担当渡部副班長より物資の状況を確認。他からも物資が入って来ているので、庄内町からの物資は2~3日に1回にしても構わないとのこと。また、おにぎりも足りているとのこと。今後の輸送については、3/25、3/26、3/29に行うことで了解を得た。その後は、随時、必要なものを連絡してもらうことにした。

平成23年3月25日（金）

- 9:03 第13便出発（建設課山本添乗）、田川商運4t車1台。（支援物資は別紙のとおり）

平成23年3月26日（土）

- 8:45 第14便出発（農林課林添乗）、田川商運4t車1台。（支援物資は別紙のとおり）

平成23年3月28日（月）

*ごみ収集 もやすごみ及び生ごみは週1回収集に、他は中止。

平成23年3月29日（火）

- 9:00 第15便出発（総務課荻原添乗）、田川商運4t車1台。（支援物資は別紙のとおり）
7:30 町長、教育長、保健福祉課長が南三陸町訪問、庄内町での避難者の受入れについて南三陸町町長と協議。3/28に締め切った第一次意向調査によれば、回答のあった2/3は集団避難を希望しない。1/3は近くの避難所を希望しており、庄内町に対する具体的な要望はなかったとのこと。

平成23年3月31日（木）

- 9:00 第16便出発 田川商運4t車1台。（支援物資は別紙のとおり）

平成23年4月1日（金）

- *ごみ収集通常どおりに実施。
*社会教育施設、社会体育施設、学校施設で4/1~4/30まで開館時間短縮措置を実施。

平成23年4月4日（月）

- *北月山荘営業再開。

*町営バス通常運行に。

平成 23 年 4 月 5 日 (火)

13 : 30 災害対応に係る市町村担当課長意見交換会が県庁講堂で開催される。

平成 23 年 4 月 7 日 (木)

23 : 33 東北地方太平洋沖地震の余震と思われる地震発生。震源は宮城県沖、マグニチュード 7. 4 庄内町での震度 4. 1。この地震の影響で町内全域で停電。

23 : 50 総務課防災交通係、建設課職員、農林課職員登庁。二次配備の体制をとる。

平成 23 年 4 月 8 日 (金)

0 : 10 東北電力から電話あり。酒田管内酒田市、遊佐町、庄内町全域で停電、復旧の見込みはたっていない。

0 : 30 本庁舎防災無線非常用発電装置作動、税務町民課長より連絡あり。農林課富樫主査と防災交通係池田主任が対応に向かう。

0 : 55 庄内警察署に確認。被害の報告はない。

0 : 56 消防立川分署、余目分署、広域行政組合とも被害の報告はない。

3 : 00 東北電力より電話あり。変電所の確認作業が必要であり、確認は明るくなってからになる。安全が確認されたところから送電予定。

6 : 00 立谷沢地区、清川地区電気復旧。余目地区では部分的に復旧。その他の地区は未定。

8 : 00 企業課より報告、確認の結果異状なし。

8 : 04 電気全面復旧。

11 : 00 建設課職員による巡回確認の結果、町道、下水道等施設等に被害無し。

平成 23 年 4 月 11 日 (月)

14 : 46 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震から 1 ヶ月に当ることから、本庁舎、立川庁舎において、1 分間の黙祷を行った。

17 : 16 福島県浜通り「いわきの西南西 30 km 付近」震源の深さ約 10 km、地震の規模マグニチュード 7. 1 の地震発生。庄内町においては震度 4 (立川庁舎 3. 5、余目庁舎 3. 4) 二次配備の体制をとった。

17 : 26 東北電力に情報を確認。庄内町において停電地域なし。

17 : 30 立川分署、余目分署けが人等の状況を確認。現在のところ報告はない。

18 : 30 企業課より情報。ガス・水道被害なし。その他被害の報告がないので、二次配備を解除。

平成 23 年 4 月 14 日 (木)

6 : 30 町長、総務課池田主幹が南三陸町を訪問。4 月 6 日までに寄せられた義援金 1 1, 6 6 0, 2 5 2 円を小切手にして南三陸町佐藤町長に手渡す。

*南三陸町ベイサイドアリーナで佐藤町長、遠藤副町長、支援物資担当と会合。町民からの義援金小切手を佐藤町長に手渡し、同時に以下の提案を佐藤町長あてに行った。

- ① 一時避難体験ツアーの受け入れ
- ② 今後の職員派遣
- ③ 子供たちの季節合宿受け入れ
- ④ 求人情報の提供

佐藤町長からは、主産業である漁業復興に向けた船舶や仮設宿舎としてのキャンピングカーなどの購入支援の申し出はあるが、義援金のように自由に使えるお金をいただくのは大変ありがたいと感謝された。また、現在の他市町への一時避難は850名余であり、4月14日〆切りで2次申し込みもしているが、少ない状況であると伺った。他市町へ移る意向のある住民は、自宅や職場が壊滅状態の志津川地区の方々為主であり、歌津地区の方々には旧集落単位で固まっており、ほとんど毎日、がれきの撤去作業等に集落単位での動員がなされており、そのコミュニティから個別に離れることは難しく、今後も一時避難者が増加する見込みは少ない状況のようであった。

平成 23 年 4 月 18 日（月）

9：00 課長等会議において、4/14 に南三陸町訪問時の状況を報告し共通認識を図る。

平成 23 年 4 月 20 日（水）

9：30 災害対策本部避難者支援対策班打合せ会議を開催。

平成 23 年 4 月 21 日（木）

9：30 議会全員協議会において、南三陸町に対する支援の状況を報告。

平成 23 年 4 月 22 日（金）

14：15 行政区長会議において、東日本大震災のこれまでの経過を報告。

平成 23 年 4 月 25 日（月）

9：00 課長等会議の中で災害対策本部として、余目第3公民館の避難所を一旦解除することを決定。